

加藤之智 カトウチ 宗教學・神道學者、文學博士。明治八年六月十七日東京生れ、昭和四十年五月八日歿（八七—一九五）。號幻々子、波水、波水生、玄々子、玄知、藤之智等。明治二十一年東京帝國大學文科大学入學、哲学科卒。陸軍教授、東京帝大助教、陸軍士官學校教授等を経、國學院大學教授、大正大學教授を歴任。この間、大正元年明治聖徳記念學會設立に参劃、常務理事、附屬研究所所長を務め、十二年歐洲歴遊。

著書 『問答體折古學小史』（明治二十二年七月）『十九日古文館』、『京

教の將來』（明治二十四年二月）『二十五日京都・法藏館』、『我建國思

想の本義』（明治四十五年二月）『二十八日岩波書店』、『憑心録と縁言者』

（中村古峽共著、大正九年五月）『二十一日明治聖徳記念學會』、『神社

對京教』（編、大正十年十一月）『二十日明治聖徳記念學會』〔再刊・昭和

五年五月十五日明治聖徳記念學會、大鏡閣發賣〕、後水尾院天皇御撰

小説 『古共前コトトモ文對照コトトモ胡蝶』（編、サドラー・星野白子四郎・長井道隆共譯、

大正十一年十月十五日金尾文淵堂）、『KOGOSHUI OR GLEANINGS FROM

ANCIENT STORIES』(Translated and Annotated GENCHI KATO, HIK-

OSHIRO HOSHINO. 大正十二年七月一日明治聖徳記念學會編輯)、『東

西思想の比較研究』(大正十五年九月十日京文社)、『古語拾遺』(校

訂、昭和四年二月一日岩波書店→岩波文庫)、『うもむ曲の裏言』

（昭和八年十一月一日中文館書店）、『明治大會聖徳餘光』(轉、



昭和十一年五月五日明治聖徳記念學會)、『研究コトトモ評釋コトトモ坂

翁大神宮參詣記』(同節子校訂共註、昭和十四年五

月十五日富山房「富山房百科文庫」)、『校コトトモ本コトトモ古訓古

『語拾遺』 (校訂、昭和十六年十一月、二千二百錦(止社)、度會常彰著
『參語拾遺纂註』 (編、昭和十八年十月、明世堂書店) 等。

